

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 清流の国ぎふ ふるさと魅力体験事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画係 電話番号：058-272-1111(内8520)

(教育委員会 義務教育課 総合支援係) E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 26,495 千円 (前年度予算額：26,495 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	26,495	13,247	0	0	0	0	0	0	13,248
要求額	26,495	13,247	0	0	0	0	0	0	13,248
決定額	26,495	13,247	0	0	0	0	0	0	13,248

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本事業は、岐阜県が世界に誇る自然・歴史・文化・産業等について学ぶ「ふるさと教育」の取組みとして、岐阜県を代表する施設を見て体験することを通じて、ふるさと岐阜に誇りや愛着を育むことを目的とする。

また、第4次教育基本計画の施策である「豊かな人間性」を育成するため、文化芸術に触れ合う機会を充実する。

(2) 事業内容

「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」、「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の教育プログラムの活用や、県の文化施設で郷土の自然、歴史や文化に触れるなど、関連施設の見学や体験活動を通じて、ふるさと岐阜の自然・歴史・文化・産業等について学習する。また、サラムンカホールにおいて、優れた文化芸術に触れ、感性を育む機会を充実する。

対象：小学校、中学校、義務教育学校

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・「清流の国ぎふ」への誇りや愛着を育むための「ふるさと教育」として、県が主体となって推進しており、県負担により実施。

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	50	事業事務費
消耗品費	45	事業事務費
役務費		
委託料	26,400	市町村委託費、講演開催委託費
使用料		
合計	26,495	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略 (R5～R9)

- ・ 1 「清流の国ぎふ」を支えるひとづくり
 - (1) 未来を支える人
 - ① 地域や企業等と連携したふるさと教育の展開

岐阜県教育大綱 (R6～R10)

- ・ 基本方針 1 んふへの愛着をもち、世界に裾野を広げ活躍する人材の育成
 - (1) 「清流の国ぎふ」への誇りと愛着の醸成

第4次岐阜県教育振興基本計画 (R6～R10)

- ・ 施策 I 「豊かな人間性」の育成
 - 1 多様な人となつながら、関わる力の向上と心の教育の充実 **【重点】**
 - ① ふるさと教育を通じた、多様な人となつながら、関わる力の育成
 - ② 文化芸術に触れ、豊かな心を育む機会の創出

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合を2028年までに90%とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小：84.5% 中：81.4%				小：90% 中：90%	
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、事業を中止した。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校及び義務教育学校96校と高等学校12校、県立特別支援学校3校で実施した。新型コロナウイルス感染症の対応を厳重に行いつつ実施した。 主な実施場所：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、奥の細道むすびの地記念館、岐阜関ヶ原古戦場記念館、郡上八幡城、郡上八幡博覧館、ひるがの高原・牧歌の里、ぎふワールド・ローズガーデン（花フェスタ記念公園）、サイエンスワールド、高山陣屋、飛騨高山まちの博物館、白川郷など <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校35校、中学校57校、高等学校14校、特別支援学校7校において実施した。 主な実施場所：岐阜かかみがはら航空博物館、関ヶ原古戦場記念館、岐阜清流長良川あゆパーク、世界淡水魚水族館アクアトト・ぎふ、モザイクタイルミュージアム、郡上八幡城、奥の細道むすびの地記念館、高山陣屋、白川郷など <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	郷土への誇りと愛着を育むとともに、自己肯定感の向上を図り、「豊かな人間性」を育成するため
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	事業開始以降、これまでに県内すべての公立小・中・義務・高・特別支援学校の児童生徒が県内の施設で体験学習を実施し、各校で実施しているふるさと教育への接続に大きな成果がある
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	他部署の既存事業と共同で実施するなど、事業の効率化、経費節減に努めている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より多くの児童生徒が参加できるよう、事業の効率化を図る。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新たな教育振興基本計画において重点事業として取り組むべき内容であり、継続して取り組む</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	